

#b#b 100人の予定表（9月） #b#b 関西（H23-9/12 現在）

関係各位のご依頼によりご案内。各行事へのご参加は必ず主催者へご確認下さい。
各種情報はお早めにヨロシク！ 毎月、末日までに翌月分をご案内したいと思っています。

NPO法人教育再生地方議員百人と市民の会 理事長 大阪市会議員 辻淳子 発行責任者 事務局長 増木重夫
TEL 090-3710-4815 FAX 06-6835-0974 h100prs@oregano.ocn.ne.jp <http://www1.ocn.ne.jp/~h100prs/>

NPO法人百人の会第2回総会議事録

平成23年7月30日 たかつガーデン（大阪上六） 14時00分～14時30分

○議長選出 司会（藤島）の発議により、全員賛成で北川悟司豊中市会議員を選出

○定足数報告 （事務局長）

i 社員会員 45名、本日出席 18名、委任状 13名 以上、定足数を満たしている。

第1号議案 平成22年度の事業報告と決算報告（増木）

i 説明 （増木；事業報告書、決算書を示し説明）

ii 監査報告 （高岡昭一監事より『適正に処理されている』と報告）

iii 質疑 （特になし）

iv 採決 （挙手により全員賛成で可決）

第2号議案 役員選任の件

i 説明 （増木；名簿を示し説明）

ii 採決 （挙手により全員賛成で可決）

第3号議案 平成23年度の事業計画と予算案（増木）

i 説明 （増木；予算案を示し説明）

ii 質疑 （特になし）

iii 採決 （挙手により全員賛成で可決）

第4号議案 その他（特になし）

○議長挨拶、降壇

基調講演 万年青年 長谷川 潤 元大阪府中学校教師

退職教師が語る「日教組の犯罪」 ご講演は動画をご覧ください（百人の会 HP より）

教科書採択最前線 **これが「沖縄」** 南海の激闘 サンケイ VS 琉球新報 教育長不信任案まで

八重山教科書問題 教育長不信任案提出へ

9月10日 琉球新報

【石垣】石垣市議会の野党会派は9日、教科書採択問題などをめぐり八重山の教育行政全般を混乱させたとして、教科用図書八重山採択地区協議会の会長を務めた玉津博克石垣市教育長の不信任案を12日開会の9月定例会で提出することを決めた。同議会の議長を除く与野党勢力は与党12人、野党9人で不信任案が可決されるかどうかは不透明だ。玉津教育長は教科書選定の過程で協議会の役員会を開かず調査員を委嘱したことや、市教育委員会で前例のない無記名投票で教科書を採択したことなどが問題視されていた。野党の大浜哲夫市議は「これまでの流れを見ると、混乱を招いた張本人は玉津教育長だ」と指摘。一般質問などで一連の問題を追及し、議会最終日に不信任案を提出する考えを示した。

育鵬社不採択に「市民の良識」 教科書考える住民の会

9月9日 琉球新報

【八重山】育鵬社版公民教科書を不採択とした八重山の教育委員全員による協議の結果を受け、子どもと教科書を考える八重山地区住民の会の仲山忠亨共同代表らは9日会見し、「市民、県民の良識の勝利だ」と歓迎した。仲山共同代表は「八重山の教育を混乱させた玉津博克石垣市教育長は責任を取ってほしい」と述べた。

八重山教科書採択、平和・人権貫く勝利 合議ならず後味悪さも

9月9日 琉球新報

13人の教育委員が集まり、5時間45分にわたる論議の末、「つくる会」系の育鵬社版を不採択にした協議。教科用図書八重山採択地区協議会の会長として一連の混乱を招いた玉津博克教育長は、腕を組んで宙を見詰めた。会場の外まであふれた60人以上の傍聴人から拍手が起こった。教科書採択をめぐる問題の浮上から約2カ月。「つくる会」系教科書の不採択を訴えてきた住民らは、平和と人権の尊重を求める「民意」の勝利を喜んだ。「答申した育鵬社版を採択したい者、拳手してください」。与那国町の崎原用能教育長が退場し、席に着いている12人の教育委員のうち、手を挙げたのは3人。玉津博克石垣市教育長は「多数決に反対だ」と手を挙げなかった。3市町の教育委員長らの間には安堵（あんど）感が広がった。八重山教育委員会協会の臨時総会として13人全員が集まったが、採択権限はないとしていったん閉会。3市町教委の委員全員が集まったこの場を協議の場とするのかどうかで議論は堂々巡りになった。玉津教育長と崎原教育長は「採択地区協議会のどこが問題か」「法的拘束力はあるのか」と応じようとしない。13人での協議が決まっても多数決に反対。これまで無記名投票や多数決で意見を通してきた2人の態度に傍聴人からは失笑も漏れた。結果、東京書籍版に決まり、傍聴人の間にも安堵感が広がったが、多数決での採択に後味の悪さも残った。竹盛洋一竹富町教育委員長は「不本意だ。話し合いで解決したかったが、退席者も出て残念でならない」と声を落とした。仲本英立石垣市教育委員長は「本当は合議で決めたかったが、多数決でも13人がそろって決めたことは大きい。子どもたちの教育のため、いい結果になった」と話した。入慶田本朝政与那国町教育委員長は「ほっとした」としながらも「協議会が市民から疑問を持たれるような選定をしたことが原因だ」と憤りを隠さなかった。子どもと教科書を考える八重山地区住民の会の仲山忠亨共同代表は「『つくる会』系の教科書は、子に渡してはならない。協議会のずるいやり方は、市民の前では通らないことが証明された」と語った。

八重山公民教科書「つくる会」系不採択 全教育委員で多数決

9月9日 琉球新報

【八重山】2012年度以降の4年間、石垣市、竹富町、与那国町の中学校で使用する公民教科書の選定で3市町が異なる教科書を採択した状態を受け、3市町の教育委員13人全員が8日、石垣市教育委員会で協議し、多数決で教科用図書八重山採択地区協議会（会長・玉津博克石垣市教育長）が選定・答申した「新しい歴史教科書をつくる会」系の育鵬社版を不採択とし、東京書籍版を採択した。3市町の教育委員13人は、八重山教育委員会協会（会長・仲本英立石垣市教育委員長）の臨時総会を開催。同会には教科書の採択権がないことから、同会を閉じた後、13人による会合を教科書を一本化し採択する協議の場とすることを確認した。この場で協議会が答申した育鵬社版の採択について3人が拳手し、少数で不採択にした。その上で、調査員が推薦し現同地区で使用している東京書籍版を8人が支持し、採択を決めた。東京書籍版には4人が反対、与那国町の崎原用能教育長は退席した。同協議には県教育庁義務教育課も立ち会った。13人の教育委員が集まったこの場を協議の場とするかどうかで紛糾し、採決まで5時間45分を要した。採択地区協議会の会長として育鵬社版の選定を主導した玉津石垣市教育長は多数決で決定することに反発し、途中で退席したが採決の場には出席、東京書籍版に反対した。結果について「納得していない。協議の内容を文科省に報告し、文科省の決定に従う」と話した。教科書採択について同地区では八重山採択地区協議会が「育鵬社版」を選定し3教委に答申。石垣市、与那国町の教育委員会は育鵬社版を採択したが、竹富町は育鵬社版を全会一致で不採択とし、東京書籍版を採択した。

八重山教科書採択 県教委主導、議決覆す 反対運動と一体

9月9日 産経新聞

八重山地区、育鵬社を逆転不採択 石垣・与那国は「無効」と反発

9月9日 産経新聞

育鵬社の教科書問題 これは教科書採択制度の危機

9月9日 産経新聞